

築150年の古民家を自然体験拠点『サステナリート・ナジクボ』として
ブランド再構築。古民家リブランディングの資金調達をクラウドファン
ディングサービス「CAMPFIRE」にて10月23日よりスタート！



神奈川県相模原市緑区で、旅館を営む陣溪園代表、大木泰康敏は、自らの生家である古民家「なじくぼ」をリブランディングし、自然体験拠点『SUSTAINAREAT NAJIKUBO (以下、サステナリート・ナジクボ)』をオープンします。農業用モノレールの敷設など古民家リブランディングプロジェクトの資金調達を、クラウドファンディングサービス「CAMPFIRE」にて、10月23日よりスタートします。

SUSTAINAREATは、持続可能を意味する“sustainable”と本来の自分に戻るための時間を意味する“retreat”を掛け合わせた造語

「自分自身がサステナブルである」とは、本来の自分を自分として生き、かつ暮らしの中でサステナブルな選択と行動をすること。私たちは、そんな人が増えることにより持続可能な社会は実現できると考えています。古民家「なじくぼ」は、都心から1時間半ほどの里山 相模原市緑区 旧藤野町に位置します。人間の営みと自然が寄り添い合い、長い年月をかけて形作られてきた美しい里山。「なじくぼ」には心揺さぶる美しさがあります。鈍く光る大黒柱や梁、至るところに長年の記憶が刻まれた築150年のこの家は、ご先祖が養蚕と林業を営んできた家系。現在は裏山の急斜面を利用した柚子畑で栽培した、良質な柚子を使った藤野の特産品を作っています。また、様々な自然体験活動の会場としても活用されています。この場所には人を癒し、自然との繋がりを思い出させてくれる力があります。私たちが思う持続可能な社会を実現するため、この築150年の古民家「なじくぼ」を、“本来の自分を取り戻すリトリート”をコンセプトとする自然体験拠点『SUSTAINAREAT NAJIKUBO (サステナリート・ナジクボ)』としてリブランディングするプロジェクトを立ち上げます。

この古民家でみなさまに体験していただきたいのは、柚子の収穫です。しかし、柚子を収穫するにはかなりの急斜面を登っていかねばならないため、古民家リブランディングプロジェクトの第一歩として、農業用モノレールを設置し、より多くの皆さまに安心してご参加いただきたいと思っています。今回、モノレール設置の一部資金を、クラウドファンディングで調達いたします。

<プロジェクトの全体イメージ>

1期：自然体験提供と農業用モノレール敷設工事

2期：建物の魅力を再生する内装工事 地元の特産物を集めたセレクトショップ等

3期：建物の補強や補修の工事 天井裏の改装等

【本件に関するお問合せ先】

古民家なじくぼ運営事務局/有)ストームワークス 担当者：五十嵐
info@najikubo.jp / HP.090.3590.8039